

令和4年1月号

さくらの里若柳

短期・通所・居宅・ケア・特養

栗原市若柳字川北塚原15-1
0228-32-7515

社会福祉法人
宮城福祉会

さくらの里だより

新年あけましておめでとうございます。

今年寅年。神様が動物にレースをさせて到着した順にその年のリーダーにするとして十二支が決まったことは有名な話ですね。十二支に入れなかった猫の話やネズミとの関係が悪くなった理由についても有名だと思います。

皆さん、イタチの話はご存じでしょうか？

イタチにはその知らせが届いておらず、あとから聞いたイタチが神様に訴えたそうです。知らせが届いていなかったことを気の毒に思った神様が月の最初の日をイタチの日にする決めました。しかし、他にも十二支に入れなかった動物がいる手前、頭に「つ」をつけて「ついたち」ということにしたそうです。月の最初の日「1日」を「ついたち」と読むのは、この話が由来だと言われているようです。調べてみると色々ないわれがあって面白いですね。

それでは、新しい年、最初のさくらの里だよりをお届けいたします。（チバ



年が改まり、厳しい寒さの中にもすがすがしさが感じられる日々ですが、さくらの里デイサービスもおかげさまで変わりなく新年を迎えております。

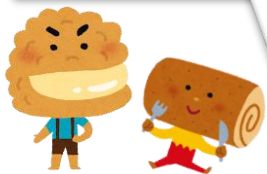
デイサービス

昨年の12月にデイサービスでは『クリスマス会』を行いました。職員が練習を重ね利用者様に喜んでいただけたようお披露目しました。



内容は『どじょうすくい』『よさこい』『憧れのハワイ航路』『岸壁の母』と様々な行い皆様から手拍子や拍手をいただき楽しんでいただけた時間になったと思います。

食事も豪勢で刺身や揚げ物、茶碗蒸しを「ごっつおだごだ(ご馳走だ事)」と喜んでいただけた会になりました。最後に皆様にプレゼントをお渡ししております。



『さくらの里カフェ』も好評でした。

今回は「シューロール」というロールケーキを好きなようにデコレーションされ召し上がられています。皆様、ペロリとたいらげられておりました。

1月は正月をイメージできる行事を考えております。

どうぞ、お楽しみに(^_-) ☆

(マサル)



ケアハウス



12月23日クリスマス忘年会を開催しました☆
一年間の行事や日頃の様子を撮影した写真をパソコンで動画に編集したものを鑑賞しながらお食事会をしました。一年を思い出しながら、ご自身が映されると笑顔が見られておりました。

今年はアルバムと花瓶に花を添えてプレゼントしました。
花瓶はいつもお誕生日にお花をプレゼントさせていただくので、是非、活用して頂きたいと思います。アルバムには今年の行事の様子がわかるよう、ご本人様の写真を入れています。



楽しまれてご覧になられていました。まだまだ写真が入るスペースがあります。

新年もお一人お一人の笑顔と思い出を綴って行きたいと思います。 (メグミ)



ショートステイ

年末恒例?! 紅白歌合戦を行いました♪

今年はバラエティー豊かな選曲となり、アイドル、コーラス、サンバ、演歌のそろい踏みでした。

賑やかに職員が登場すると皆様は大笑い☆カツラを被り、歌ったり、踊ったり、大騒ぎのひと時となりました(^▽^)/

職員に負けず劣らず皆様の歌声は圧巻!! ステキな歌声に驚かされました。毎日ユニットで歌っている北国の春は歌詞なんか見なくても歌えるくらい♪♪
とっても滑らかに歌っていました(^)

紅白歌合戦の最後には、マツケンサンバが登場!
職員も利用者の皆様もノリノリでした(^▽^)

「世界に一つだけの花」「お正月」をうたい
新年もステキな一年となりますように…
と願い、締めくくりました。(ノゾミ)



若柳中学校1年生「職場インタビュー」

12月10日、若柳中学校の1年生8名が職業インタビューに来ました。

「この仕事に就こうと思ったきっかけ」「必要とする資格や免許」「高齢の方と話すときに工夫していること」「来年の目標」など質問内容からも将来をきちんと考えているのが感じられました。

当日は、いろんな体験談をお話させていただきました。真剣にメモを取っている姿にも感心しました。福祉現場で働く専門職に興味をお持ちの皆さん、いつか一緒に働ける日を楽しみにしています。(サトウ)



特養

12月24日にクリスマス忘年会を開催しました！！
南ユニットではフルーツサンドを作り、
クリスマスソングをうたい、プレゼントを渡しました♪



北ユニットでは職員も一緒に箱の中身は何でしょう？クイズやビンゴゲームを行いプレゼントを渡しました♪箱の中身は何でしょう？では職員の触るものが納豆だったり生卵だったり、職員のリアクションをみて笑われる方がたくさんいらっしゃいました♪

令和3年最後のイベントを無事に終わることができ、職員一同も充実感に溢れていました。ほとんどコロナの影響により外出が厳しい状況でしたが、11月頃より少しずつコロナも落ち着いています。新たな変異株の流行が見られますが、今年は何れも少なく、外出できる機会を増やしていければと思います☆
新年も皆様にとって幸多き1年になりますよう心より願っております。 (ミカ)



職員紹介

- <名前> 菅原里美 (スガワラ サトミ)
<部署> 特養さくらの里若柳 介護員
<一言> 趣味は韓国ドラマを見ることです！
コロナもだいぶ落ち着いてきたので、何か楽しいイベントを企画していきたいと思います！！



- <名前> 小野寺麻由美 (オノデラ マユミ)
<部署> さくらの里若柳 ショートステイ介護員
<一言> 趣味は漫画を読むことと、カラオケに行くことです！
コロナも落ち着いて外出する機会も増えてきましたが、感染対策をしっかりと行って今まで通り気を引き締めていきましょう！！





今月のスポットライト

よしの幼稚園



今月、ご紹介させていただくのは
若柳よしの幼稚園 佐々布隆一園長先生
です！

若柳よしの幼稚園はさくらの里のすぐ
お隣にあり、いつも子どもたちの元気な
声と姿にパワーをもらっております！！

佐々布先生へ若柳よしの認定こども園についてお聞きしてきました。



1、園児数 212 名 (年少 70名・年中 65名・年長 77名)

2、若柳よしの幼稚園の特色

昭和6年に一関クリスチャン教会の婦人会伝道師だった吉野
みよ志 (大正デモクラシーの吉野作造の姪) が人形社幼稚園
(仙台市) に次いで県内2番目の私立幼稚園として開設した90
年の歴史と伝統のある幼稚園です。84歳で亡くなるまでは45
年間、幼児教育に生涯を捧げた初代吉野園長先生の思いや

願いは、『感謝に始まり、感謝に終わる、園生活の一日』という本園の教育理念に
脈々と受け継がれております。この教育理念のもと、「ありがとうございます」と
いう感謝の心、「はい」という素直な心、「すみません」という反省の心、「わたし
がします」という奉仕の心を日々の保育・教育で育てています。



3、若柳よしの幼稚園の取り組んでいること

子どもの生活のほとんどは「遊び」です。遊びの中で子どもが身につける知恵と
力は計り知れません。また、体を動かし、鬼ごっこなどのルールのある遊びや友達
と好きな遊びを思いっきり楽しむことで心も安定し、精神的にも満足します。その
ため、園庭でかけっこ・鬼ごっこ、夏はプールで水遊び、ときには子どもが子ども
らしく自信を開放し自由に遊ぶ泥んこ遊び、冬には歓声を上げそり遊び、室内での
ハサミやノリを使った製作遊びなど様々の遊びに取り組んでおります。そして、遊
びを通して、好奇心や探究心を養い、集中力・思考力、工夫する力、コミュニケー
ション能力など人間として生きていくための力を培っています。



また園舎の裏には畑があり、楽しみながら食育を行っています。
土に親しみ、世話をしながら季節の野菜の生長を観察し、収穫した
野菜を食べることで喜びを味わい、食べ物を大事にする心を育て
ています。

☆
編集
後記
☆

今年は雪の多い年末年始となりました。
皆さんはどんなお正月を迎えたでしょうか？

初夢は昔から「一富士・二鷹・三なすび」がめでたいと言われてい
ます。もし、悪い夢を見た場合は夢の絵を川に流すと良いそうです。

さて、今年はどんな年になるでしょう♪

皆さんにとって幸多き1年となりますように☆ (アユミ)

